

国際キャリア合宿セミナー2009

～国際舞台で活躍を目指す若者たちへ～

国際的な仕事に求められる知識や能力、これらの仕事に至るキャリアパスを参加者自らが考えます。国際キャリア合宿セミナーに主体的に参加して、これからのキャリアを考えるヒントや判断材料にしましょう。全国の大学生や社会人など多様な参加者から、大きな刺激を受けられます!

2009年9月19日(土)～21日(月)

講師と担当分野

国際公務	国連難民高等弁務官 駐日事務所	小坂 順一郎氏
国際協力NGO	日本国際ボランティアセンター 職員	佐伯 美苗氏
青年海外協力隊	白鷗大学教育学部 教授	結城 史隆氏
第三世界ビジネス	(株) FAR EAST 代表取締役	佐々木 敏行氏
国際保健医療	国際医療福祉大学 講師	石井 博之氏
国際貢献企業	武田薬品工業(株) コーポレート・コミュニケーション部	金田 晃一氏
食と農と環境の国際協力	恵泉女学園大学大学院 准教授	澤登 早苗氏
留学・進学・インターンシップ	(株) 国際開発ジャーナル社『国際協力ガイド』編集長	新海 美保氏

参加費：18,000円

定員：110名(先着順)

問合せ先：宇都宮大学国際学部総務係(担当:岩城)
028-649-5165

申込み先：下記メールアドレス(申込用紙請求先)
kokuca@miya.jm.utsunomiya-u.ac.jp

申込期間：2009年7月1日(水)～7月24日(金)

会場・宿泊：栃木県青年会館(コンセーレ)

URL：<http://www2.ocn.ne.jp/~concere/>

交通：JR宇都宮駅 関東バス
「作新学院駒生」(⑥⑦番のりば)200円
東中丸バス停下車(コンセーレ前)

主催：宇都宮大学、大学コンソーシアムとちぎ

協力大学：白鷗大学、国際医療福祉大学、作新学院大学

共催：(独)国際協力機構、JICA地球ひろば

後援：栃木県、(財)栃木県国際交流協会、(株)国際開発ジャーナル社、栃木県JICA専門家連絡会、栃木県青年海外協力隊OB会、いっくら国際文化交流会

ファシリテーター(分科会進行役)募集!!

ファシリテーターとは、参加者やその場の雰囲気、講師のキャラクターなどに合わせて臨機応変に会を誘導していく司会のことです。講師との1対1の打ち合わせをとおして、自分自身の学習を深める機会にもなります! 普通の司会進行役とは一味違うファシリテーターに興味のある方はぜひお問い合わせ下さい!

本セミナーは、国際キャリア形成のための学生・院生・社会人向けプログラムです。

2004年から続く**宇都宮大学**発のこの企画には、北海道から九州までの学生が参加し、各界で活躍中の講師陣と熱く将来の夢を語り合います。

プロフィール

国際公務

小坂 順一郎 (こさか じゅんいちろう)

国連難民高等弁務官 (UNHCR) 駐日事務所 上席連絡・調整担当

1970年生まれ。1990年から1996年まで国際基督教大学にて国際法および欧州共同体法を学び、1997年より2005年までロンドン大学において欧州統合と市民権に関する研究を行う。2006年より国連難民高等弁務官 (UNHCR) 駐日事務所にて、上席連絡・調整担当を務める。主にUNHCR本部 (資金調達局、地域局)、UNHCR現地事務所、外務省や内閣府などの政府機関と資金調達や情報の共有を行う。また日本UNHCR・NGO評議会 (J-FUN) の事務局長を務め、UNHCRと日本NGOの連携強化を担当。

国際協力NGO

佐伯 美苗 (さえき みな)

(特活) 日本国際ボランティアセンター職員、2009年度NGO相談員 (副担当、外務省支援事業)、日本UNHCR・NGO評議会 (J-FUN) 共同議長

1969年生まれ。社会学・社会人類学を専攻し、京都大学大学院ならびに南山大学大学院修了後、関西のホテル経営企業に就職、後に翻訳サービス企業に転職。学生・会社員時代は、主に環境保全や外国籍住民支援など、国内の課題に関心が強く、複数団体にボランティアスタッフとして参加。2000年にNGOに転職した後、主に医療または保健衛生分野で、紛争地や被災地での緊急救援・復興支援、また難民支援事業に従事。コンボ地域医療再建、アフガン難民医療保健支援、イラン緊急医療支援など。2007年JVCに移籍、現在はスーダンおよびイラクを担当。

青年海外協力隊

結城 史隆 (ゆうき ふみたか)

白鷗大学教育学部教授、青年海外協力隊技術顧問 (村落開発普及担当)

専攻は文化人類学。タイ、フィリピン、マレーシア、タンザニア、ネパールなどでフィールド調査を行う。テーマは社会変容。支援・援助のコミュニティに対する影響を考えているうちに、協力隊の活動に興味をもつようになった。その延長で日本の地域における活性化やボランティア活動にも関わる。協力隊参加はボランティア活動としてではなく、若いときに途上国の村人たちと過ごす2年間で、人生における貴重な財産になると思う。東京大学大学院博士課程中退。

第三世界ビジネス

佐々木 敏行 (ささき としゆき)

株式会社 FAR EAST 代表取締役

発展途上国を中心に世界各地で食品、雑貨の開発輸入を行う。商材発掘→輸入→企画・デザイン→営業販売までを一貫して行い、ナチュラル、オーガニック、フェアレードなどをコンセプトとし、各地の文化やストーリーを織り込んだスタイリッシュな商品化を実践する。販路は日本全国及び海外。開発輸入の専門家として途上国や各関係機関へのコンサルテーション、開発輸入に関する講演なども行う。20代の大半は海外を放浪し、世界にはまだまだ素晴らしい文化やものがあることを見聞する。社名の FAR EAST は世界の文化を商品にのせて、遙か東の果ての地に運んでくるという想いが込められている。札幌北陵高校普通科卒。

国際保健医療

石井 博之 (いしい ひろゆき)

国際医療福祉大学講師

マレーシア、マラウイ、ベトナム、ヨルダンなどの発展途上国で、JICA 専門家としての国際協力の経験がある。地域医療、海外理学療法事情、発展途上国における適正技術などを研究している。専門は、義肢学、装具学、高次脳機能障害学。マリンスポーツ全般が好き。学生時代を有意義に過ごし、今できる経験をたくさんして欲しい。国際医療福祉大学大学院博士課程修了、保健医療学博士。

国際貢献企業

金田 晃一 (かねだ こういち)

武田薬品工業 (株) コーポレート・コミュニケーション部 CSR・コーポレートブランディング シニアマネジャー

慶応義塾大学経済学部にて国際貿易を専攻後、ソニーに入社、欧州通商渉外を担当。社内制度を活用し、英国レディング大学院経済学部で留学、多国籍企業論修士課程を修了。その後、在京米国大使館経済部にて対日規制緩和業務を、また、ブルームバーグTVで経済アナウンサー業務を担当する傍ら、アジアでのボランティア活動やFASIDでの開発学研修を通じ、「多国籍企業による人間開発」に関心を持つ。関心を業務にシフトすべく、ソニー (再入社)、大和証券グループ本社、武田薬品工業の3社にてCSRを担当、「NGOとの協働」に関わるケースメイクを進める。

食と農と環境の国際協力

澤登 早苗 (さわのぼり さなえ)

恵泉女学園大学大学院 准教授

有機農業による農村開発や民間交流でアジア、オセアニア、欧米各地を訪問したり、JICAのプロジェクトでイスラエル・パレスチナを訪れ、エジプト・ヨルダン、パレスチナ人向けの有機農業コースの講師経験も。国内では、有機園芸の教育力を生かした教育実践、園芸を介した子育て支援やコミュニティの再興などにも取り組む一方で、家業の有機・農薬不使用栽培の果樹栽培も実践。東京農工大学大学院連合農学研究所修士課程修了、農学博士。

留学・進学・インターンシップ

新海 美保 (しんかい みほ)

株式会社国際開発ジャーナル社『国際協力ガイド』編集長

1981年愛知県生まれ。2004年日本大学国際関係学部卒。在学中、『日本大学新聞』国際部長として海外関連情報の記事執筆や英字版発行に携わる。卒業後1年間、国際NGOのボランティアとしてインドのプライベートスクールで教育支援に従事。05-06年JICA青年海外協力隊の広報誌『クロスロード』編集室勤務。06年4月から (株) 国際開発ジャーナル社へ。月刊『国際開発ジャーナル』やJICA広報誌などの編集を担当。現在『国際協力ガイド』編集長として、国際協力分野への留学・進学・インターンシップ・就職を扱う。